



委員会のまとめ

感染対策委員会

委員長：山中 美輪（看護課主任）
委員：岡本 好司（医師）
岸 佐千代（管理栄養士）
沖 久美子（デイサービス看護師）
幕 良美（作業療法士）
竹延 賢志（北館2階 援助員）
和田 昂（南館2階 援助員）
中村 日乃（北館3階 援助員）
谷澤 和歌子（南館3階 援助員）

今年度の目標「標準予防策・スタンダードプリコーションの徹底」

I. 感染症研修会の参加

今年度は感染症研修会に感染委員から5名が参加することができました。来年度も研修会に参加し、感染症の動向に注意するとともに自己研鑽に努めていきたいと思えます。

II. 感染症マニュアルの一部改訂

薬剤耐性菌（ESBL）の項目について一部改訂を行いました。

III. グリッター・バグの実施

感染症予防において手洗いは基本であり、感染経路を遮断するためにも重要です。正しい手洗いの徹底の為に全職員（148名）を対象に6月から7月にかけて実施しました。グリッター・バグの評価値は毎年向上しており、職員間で手洗いの大切さについて徐々に浸透してきていると実感しています。それに伴い感染症予防に対する意識向上へも繋がっています。

IV. 吐物処理演習ロール・プレイングについて

感染対策委員が委員会内でロール・プレイングを実施し、甲寿園感染症マニュアルを熟読後、各フロアで感染委員を中心に主に未経験者に対して演習を行いました。未経験者にとっては、マニュアルを読むだけではなかなか知識として定着させていく事が難しく、動画を取り入れてはどうかという意見がありました。感染症マニュアルを読んだ後、吐物処理演習の動画を観て実際に演習を行うほうがより理解が深まり知識の定着に繋がるのではないかと思います。来年度動画を取り入れる事を検討していきたいと思えます。

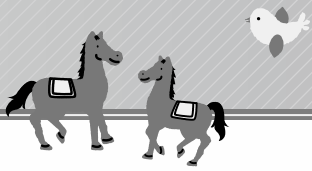
V. 感染委員による各フロアラウンド点検について

感染対策委員が、20のチェック項目に基づいて各フロアのラウンドを行っています。今年度、ラウンドの際に使用しているチェック項目を改訂し、新たに質問形式の項目を作成する等行いました。ラウンドする事によって、お互いの良い点、改善点を見られて良い、お互いに声を掛けあって整理整頓に努めたい等、意欲的な意見が多数ありました。

VI. 今年、全国的にインフルエンザが猛威を振るっていましたが、当施設においてはご利用者様4名の罹患にとどまりました。

今年度はインフルエンザの流行が過去10年間で最大となりました。ご家族におきましては、冬季の面会制限、手洗い、うがい、マスクの着用にご協力頂きありがとうございます。

甲寿園では換気やご利用者の手指消毒の実施、流行時期には「感染予防の10箇所の拭き掃除」の実施を



行いました。必要に応じて緊急感染対策会議も開きました。全職員対象に園内でのインフルエンザ発生状況や、西宮市感染症発生状況等の情報共有、注意喚起を行い、職員の意識の向上に繋がりました。これらが園内での流行を最小限にできた要因だと思います。

Ⅶ. 今後の課題

今年度は標準予防策（スタンダード・プリコーション）の徹底を目標とし、一年間感染予防に努めてまいりました。しかし、「標準予防策・スタンダードプリコーション」という言葉に対して職員間になじみが薄かったため、なかなか浸透することが難しかったことが反省点です。次年度は職員間に浸透しやすいようにわかりやすい目標設定を心掛け、引き続き感染対策に努めていきたいと思っています。

食事・褥瘡予防委員会

委員長：岸 佐千代、弘内 優帆、二口 三紀（管理栄養士）

委員：岡本 好司（医師）

吉田 夏樹（看護課 看護師）

中村 千穂（リハビリテーション室 作業療法士）

原田 正（北館3階 主任）

松村 美香（南館3階 援助員）

吉岡 奈央（北館2階 援助員）

宮田 加奈子（南館2階 援助員）

古澤 ゆかり（デイサービス 援助員）

柳瀬 伊都美（ケアプラン室 介護支援専門員）

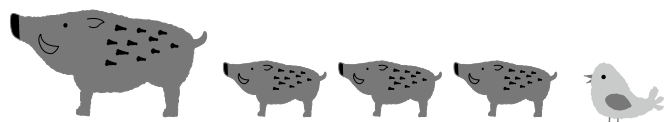
平成30年度の食事・褥瘡予防委員会は隔月に1回、計6回開催しました。

毎日の食事について、より良いものを利用者様に提供するために話し合いました。

また、30年度からは褥瘡ケアマネジメントについても同委員会の中で話し合いを行い、名前も「食事・褥瘡予防委員会」と改めスタートしました。

多職種がそれぞれの専門的な立場から甲寿園の食事について意見を出し合い話を深めることによって、一人一人のご利用者を様々な視点から見ることができます。その積み重ねがより良いケアに繋がっていくのではないかと思います。

今後もさらに充実したケアが行えるように、委員を中心として考えていければと思います。



身体拘束廃止・虐待防止委員会

委員長：高本 竜太郎（南館２階 係長）
岡本 好司（医師）
鵜久森 史江（看護師）
小田 浩美（リハビリテーション室 係長）
高川 久美子（相談員）
藤原 志保（北館３階 主任）
岡本 茜（南館２階 援助員）
佐藤 歩（北館２階 援助員）
塚田 まり子（デイサービス 援助員）

平成 30 年度活動内容を「身体拘束ゼロを目指す」として掲げ身体拘束に関する指針を読み合わせする事から開始しました。

平成 30 年度に入る時点で全体的な身体拘束施行者は減少していましたが、今後新たな身体拘束対象者が増え無いよう、又現在身体拘束を実施している方の解除に向けた取り組みを実施していく事を目標としました。実施内容として４月以降身体拘束廃止に向けた取り組みについての徹底化を図りました。

【目標】

- ①身体拘束実施者への適正な実施と解除に向けた取り組みを確認する為、身体拘束実施時間の入力方法の統一を行う。記録入力時に身体拘束の内容・心身の状態等を明記する事で拘束解除に繋がる情報の集約を図る。
- ②入所時にご家族に向け身体拘束は行わない旨の説明を行いご家族様にも共通理解としてご理解いただけるような取組を進める。
- ③身体拘束実施者の拘束内容の見直しに対し再度精査を行い、今までの流れ（慣性）で継続している方がいないか解除に向けた選択肢が増えないか等、身体拘束解除に向けた取り組みの明確化を図る。

【身体拘束実施者総数】

H 2 9 年 3 月時点 1 5 名 ⇒ H 3 1 年 3 月時点 3 名

【身体拘束が減少した背景】

- ・職員間での「身体拘束をしない」という意識の高まり
- ・委員会より「身体拘束の全面廃止」を宣言する事で定期的な見直しに加えさらなる防止策の検討が深められた。
- ・入所時や退院再入所時に「身体拘束は行わない」という事を繰り返しご家族に説明し理解して頂き、結果不要な身体拘束を防ぐ事や、安易な拘束導入を防ぐことが出来た。
- ・利用者の一部状態の変化（体力の低下・ADL の低下等）

【身体拘束廃止虐待防止委員会の今後の活動】

- ・身体拘束ゼロに向けた取り組みを継続しながら、身体拘束と密接に関係する高齢者虐待防止についての取り組みを行う。
- ・活動内容として、年数回チェックシートを用いた意識調査を行うと共に実施によって職員個々に意識付けを行い虐待の抑止に繋げる。

防災委員会

委員長：木村 英樹（南館2階 主任）
副委員長：川崎 真吾（南館3階 主任）
委員：寺本 悠二（北館3階 援助員）
野口 清美（北館2階 援助員）
塚田 まり子（デイサービス 援助員）
細川 英二（設備用務員室 用務員）
石原 美香（事務室 介護課長）

委員会開催月： 6月13日
8月 8日
10月10日
1月18日（臨時）

委員の活動内容は以下のとおり

年4回（臨時含む）の委員会では、主に火災訓練を実施しました。

6月13日（水） 出火元：南館2階 時間帯：日勤

8月 8日（水） 出火元：南館3階 時間帯：夜勤

※にしのみや苑合同訓練後に、消火器及び消火ホースの使用方法について学ぶ

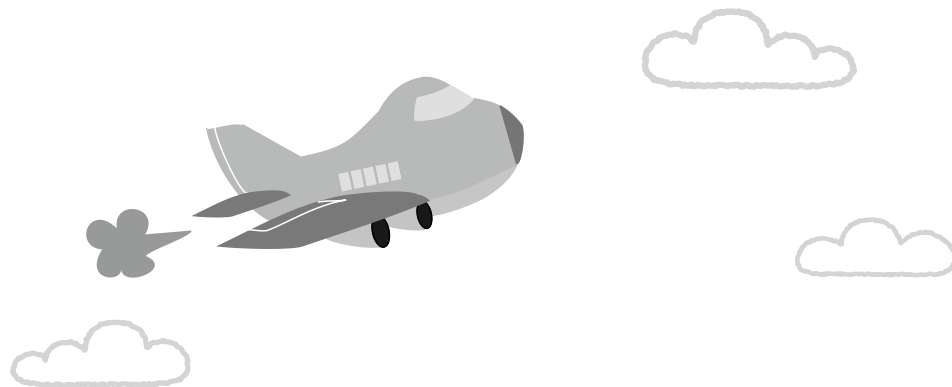
10月10日（水） 出火元：デイサービス 時間帯：日勤

1月18日（水） これまでの振り返り及び次年度に向けての話し合い

今年度の防災訓練は、昨年度同様に各フロアの持ち回り順で、出火元フロアの委員が要綱の計画を行いました。近年デイサービスでの出火を想定した訓練の実施が行われていなかった為、新たな計画の立案及び実施をする事としました。

昨年は度重なる災害に直面し、園自体も少なからずダメージを受けました。次年度は火災訓練だけではなく、水害等の防災訓練や防災時のマニュアル作成に取り組んでいきます。

年間で定められた防災委員会（臨時を含め年4回開催）以外でも、臨時として随時委員会を実施する事で、委員長と課長で日程の調整を行い、更なる防災対策に取り組んでいきたいと思いをします。



PC 委員会

委員長：柳田 賢二（相談室 主任）

副委員長：田村 暢浩（南館 3 階 援助員）

委員：伊賀 かをり（看護課 看護師） 高本 竜太郎（南館 2 階 係長）

安谷屋 名月（北館 3 階 援助員） 大平 幸佳（デイサービス 援助員）

開催日：奇数月 第 2 水曜日 15:30 ～

平成 30 年度パソコン委員会

・5 月 8 日（水） ・7 月 11 日（水）

・11 月 14 日（水） ・H 31 年 3 月 13 日（水）

15:30 ～ 16:30 計 4 回会議開催

5 月：身体拘束委員会と共同会議を行い身体拘束ゼロを目指すため、記録の方法に関して話し合いを行う。

（例 やむを得ずに拘束を行った場合拘束した時間帯を必ず記録を行う事や記録の簡素化等必要な情報入力をいかに時短できるか検討）

7 月：デイサービスの記録を中心に話し合う。（デイサービスの記録が甲寿園全体の記録と相違している事が多くあったため園全体で統一できるようにすすめる。）

11 月：必要な情報の記録入力について分析し内容濃く入力し、かつ簡素化できる記録の精査を行う。

3 月：次年度に向けての必要な凡例の追加や言葉の変更をおこなう。

まとめ

パソコン委員会は年 4 回行い、毎日の記録入力についてを単時間で内容を濃く出来るように熟考してきました。会議を重ねることで細かいところまで周知徹底できるようになってきており混乱なく 1 年間を終えることができました。今後記録入力におけるソフトのバージョンアップにも対応していき、どのようなところに変更になったの確認を行う事、加えてどのように反映させていくかさらなる検討が必要となります。

リスクマネジメント委員会

委員長：日笠 君彦（南館 3 階 係長）

八木 良子（看護課 係長）

小田 浩美（リハビリテーション室 係長）

北田 美代子（北館 3 階 援助員）

渋谷 ひとみ（北館 2 階 援助員）

平野 未来（南館 2 階 援助員）

高宮 聖洋（デイサービス 援助員）

高川 久美子（相談室 相談員）

30 年度のリスクマネジメント委員会は昨年度同様に隔月（奇数月）第 4 火曜日に年間計 6 回開催しました。

リスクマネジメント委員会では発生した事故について集約し各部署から報告が必要な事故報告を行った後、事故再発防止のため事故に対する検証及び検討を委員会内で行っていきましました。

委員会内で、検証・検討を行う事の出来る件数を年間 10 件と設定し、10 件行う事ができた場合は 100%、8 件で 80%、6 件で 60%とし、年間 6 回以上行う事としました。

○事故報告の中から、委員会内で検討・検証を行えた件数は以下の通りです。

5 月：2 件 7 月：1 件 9 月：2 件

11 月：3 件 1 月：0 件 3 月：2 件 計：10 件

事故は防ごうとしても起きてしまうのが現実です。しかしその事故を多職種間で検討・検証する事で分析を行いそれを積み重ねることによって1件でも事故を減らせるように現場と共に試行錯誤していくことが、本委員会の役割だと思います。

来年度も事故の減少を念頭に、委員全員で取り組んで行きたいと思います。

排泄委員会

委員長：平山 敦子（北館2階 主任）

副委員長：池松 翔（南館3階 援助員）

委員：藤原 志穂（北館3階 主任）、杢本 知子（南館2階 援助員）

開催日：奇数月第3水曜日

開催日：平成30年 7月18日（水）、平成30年9月19日（水）

平成30年11月21日（水）、平成31年1月16日（水）

業者による紙おむつ勉強会：平成30年11月21日（水）

本年度は各フロアで目標を立て、実践に取り組みました。

南3（排泄介助の見直し）

南2（他職種と連携して排便コントロールの見直し）

北2（排泄介助のスキルアップ）

北3（利用者に適した排泄物品の準備）

当委員会では各フロアの排泄介助における問題点を報告し合い、それらに対する解決策を共有してまいりました。業者による排泄に関する問題点の指導も大変有意義な経験でした。

いずれも根底にあるのは、ご利用者と職員双方に負担のない心地よい排泄介助、またそれに伴った心地よい生活支援の提供です。

排泄介助を「汚いこと・しんどいこと」とだけ思うのではなく、「ご利用者をきれいにさせてもらえる介助・すっきりしてもらえる介助」と職員の意識が変わって、排泄介助が好きになっていけるよう、また、排泄介助のスキルアップが出来るよう取り組んでまいりました。

来年度も引き続きこれらの点に留意して委員会を継続してまいります。

紙おむつ納入業者による紙おむつ勉強会は新任職員・まだ受けたことのない職員を中心に、少しでも職員の排泄介助に対する意識が変わるよう、今後も継続して行きたいと考えております。

研修委員会

委員長：山澤 真二（北館2階 係長）

副委員長：中村 裕樹（北館3階 援助員）

委員：石原 美香（事務室 介護課長）

丸山 壽美子（南館2階 援助員） 真鍋 美代（南館3階 援助員）

阪下 としえ（デイサービス 援助員） 上山 寿美代（看護課 看護師）

開催日：奇数月第4木曜日 15:30～

研修実績

①園内研修：毎月第4木曜日午後～

開催月	内容	講師
4月	事業説明会（倫理及び法令遵守）	中野園長
5月	緊急時の対応（時間外）	木村主任、今西援助員
6月	吸引の演習	妹背看護課長、上山看護師
7月	認知症ケア	狭間常務
9月	メンタルヘルス（役職者対象） 感染症予防	S A R A Y A ・作田氏
10月	園内実践研究発表	
11月	法人実践研究発表会 紙おむつ勉強会（ネピア）	王子ネピア（株）竹村氏、矢倉氏
1月	口腔ケアと誤嚥予防について	山口歯科・中野 麻由氏
3月	事故防止（リスクマネジメント研修） リスクマネジメント・身体拘束廃止年間のまとめ	末澤 美紀氏 高本係長、日笠係長

まとめ

30年度は前年度同様、施設における必須研修を中心に研修委員会で内容を検討し、年間計画を作成しました。また外部の講師の方により専門的な研修を依頼し、教授頂きました。

今年度は園内研修を行う上で多くの問題がありました。職員の体制が厳しい中研修に参加できる職員の確保が難しく、12月と2月は研修が延期になってしまいました。また参加者も研修委員が多く、他の職員がなかなか参加することができませんでした。その中で研修を受講した職員がいかに他の職員へ研修内容を伝え共有できるかが課題となりました。

次年度は少しでも多くの職員が参加できるよう研修時間の見直し、また自己研修にもっと参加しやすい環境を作っていきたいと思います。

口腔ケア委員会

委員長：松野 綾（南館3階 主任）
委員：東海 民恵（南館2階 援助員）
安谷屋 名月（北館3階 援助員）
伊澤 雅記（北館2階・ショート 援助員）
伊賀 かをり（看護課 看護師）
沖 久美子（ディサービス 看護師）

- ・2ヶ月に1回→歯ブラシ交換（歯ブラシ、たんぽぽ、くるりーな）
- ・6ヶ月に1回→義歯ブラシ交換
- 上記以外に必要な方は、別途購入。
- ・山口歯科往診（毎週木曜日）

委員会の取り組み

- ・委員会は隔月に1回、年6回開催し、各フロア報告より口腔ケアの充実を検討
- ・山口歯科の歯科衛生士による口腔ケアミニ研修は毎月実施。
偶数月→北3、南3 奇数月→北2、南2（担当職員が参加）
担当職員が口腔ミニ研修に出席できない場合は、他の職員が代理として参加し、ミニ研修で学んだ事を、フロア職員に周知し共有できる取り組みを行っている。
- ・30年度から義歯ケースを園で購入できるよう、備品として取り扱いを始める。

各フロアの取り組み

北館 2 階…ほとんどの方が食後、歯磨きはできている。できていない方には、積極的に声かけをおこない清潔を維持するよう努めている。

ショート…退所時には必ず歯磨きをしていただいているので、このまま継続する。

北館 3 階…義歯の方も外していただき洗浄し口腔内を清潔に保つよう引き続き努める。

南館 2 階…口腔ケアの歯ブラシなどその方に合った適切なものを使用し、しっかりケアを行う。

南館 3 階…しっかりと口腔ケアをしていただけるよう声かけや誘導を行い、ご自身で出来ない方には職員が介助を行う。

次年度に向けて

口腔ケアによって誤嚥性肺炎を防ぎ、美味しく食事をお一人おひとり摂っていただけるよう山口歯科と連携を取りながら援助を目指します。

サービス向上委員会

委員長：瀬戸 涼子（事務室 在宅支援課長）

委員：石原 美香（事務室 介護課長） 妹背 江美（看護課 課長）

柿坂 禎子（相談室 係長） 高本 竜太郎（南館 2 階 係長）

山澤 真二（北館 2 階 係長） 日笠 君彦（南館 3 階 係長）

平野 徳一（北館 3 階 係長） 高田 健太郎（デイサービス 主任相談員）

岸 佐千代（栄養室 管理栄養士）

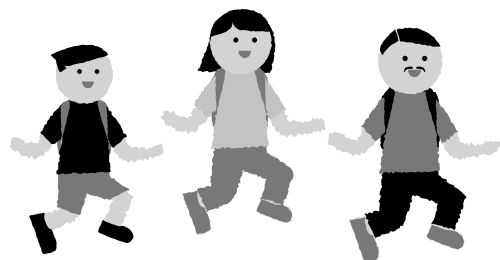
小田 浩美（リハビリテーション室 係長）

平成 30 年度のサービス向上委員会では次年度の完成を目標に「甲寿園マニュアル」の作成と見直しを中心にすすめていきました。

まず、委員会で「なぜマニュアルが必要なのか」を検討しました。業務の標準化を行い業務の目的を確実に達成できるようになれば結果的にはご利用者満足度につながることを共通認識としました。

マニュアルは、既存の「甲寿園倫理規呈」に基づき作成することにしました。具体的には原則必ず実施すべきこと、職員全員が守らなければならないことなど共通の標準化された手順を基本とし、ご利用者ごとの留意事項は個別のケアプランに入れることとしました。さらに作成したマニュアル内容の研修を行い、職員一人一人に周知していくことや日常的に活用していくことが大切であることを話しました。書式は「2014 年法人事務局作成」分を使用し新人職員でもわかりやすいものを作成することにしました。多職種メンバーの構成による委員会で介護業務マニュアルを一作業ごとに検討していきました。

また、平成 29 年度に行いました「サンキューカード」の取り組みは平成 30 年度も継続していきました。職員の気付きを大切にしてお互いほめ合うことによりコミュニケーションを円滑にすすめていきました。残念ながら「サンキューカード」の取り組みは浸透していない部署もあり今後の課題となりました。





ボランティアクラブ活動の状況

30年度も、下記に書ききれないほど多くのボランティアの皆様に、活動をして頂きました。長年にわたり甲寿園の生活を支えてくださっている皆様や、ご家族様の在園中そして退所後もボランティアという形で、甲寿園に力を貸してくださる方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

利用者の方々の生活・暮らしの中で、どうしても職員だけでは補えない多くのことを、心を込めて活動して下さる皆様を一部紹介させていただきます。他、多数の方のご協力、ありがとうございます。

個 人 ・ 団 体 名	活 動 状 況	
火曜会 様	リネン交換 毎週火曜日・4回 あいあい喫茶・運営 第2・4火曜日	毎週火曜日に早朝より来園され活動してくださっています。午前中は生活支援の一環としてリネン交換を長きにわたり、担ってくださいました。午後はあいあい喫茶の運営を担ってください心こもった接客で利用者の憩いの場になっています。他、夏祭りなどの行事の支援もしてくださっています。新旧のメンバーの交代もあり男性も活躍されています。
西宮市社会福祉協議会甲陽園分区分 ボランティアセンター 様 (喫茶ボランティア・歌の出前・華の会)	あいあい喫茶・運営 第1・3火曜日 外出付き添い 音楽ボランティア 利用者とのふれあい	甲陽園ボランティアセンターの方々を中心に、多岐にわたる活動をして頂いています。あいあい喫茶の運営をはじめ、そこでの催しや、火曜日以外の音楽の催しにおいても、活躍していただいています。利用者の方々はオカリナの音色に癒され手話や手遊びで昔懐かしい思い出に浸り三味線の演奏とともに元気に歌唱されています。
カットサークルクローバー 様 代表 岡本 光代 様	理容・美容(散髪) 第1月曜日	忙しい仕事の合間の大切な休日を使い、遠方の会員の方も甲寿園に来園してくださいます。各フロアに出向き、お一人お一人ご利用者に向き合い、活動をしていただいております。車椅子に乗っておられる利用者の方も、素敵なカットにニコリされています。
辯天宗兵庫教区婦人部 様	カット布作り	定期的に、古布のカットのボランティアに来ていただいています。やさしくカットされた布はフロアで使用しております。
金光教今津教会 様	カット布作り	古布を、協会の皆様に使いやすいようカットし、甲寿園に届けてくださっています。心配りに感謝です。
用海連合婦人会 様	カット布作り	年に数回、連合婦人会の皆様でカットしていただいた布を寄贈していただいております。
北夙川ボランティアセンター 様	行事支援・ 書道活動支援・お手玉	お花見や外出付添いの支援、書道活動の支援をしてくださいます。また、手作りのお手玉をプレゼントしていただきました。
コープ苦楽園福祉サークル 様 コープコスモサークル 様 コープ夙川ゆりの会 様 コープ仁川福祉の集い 様	カット布作り	コープの活動の一つとして、丁寧に切っていただいたカット布を多岐にわたり使用させていただいています。ウエスとして、蒸しタオルとして、大活躍です。
安井保育園・安井さくら保育園 様	利用者とのふれあい 歌 遊戯	バスに揺られ、みんなで協力しながら甲寿園を訪問してくれる可愛い訪問者に利用者の皆さん優しい笑顔です。得意技の披露に拍手喝采！みんな笑顔です。
夙川学院短大附属幼稚園 様	利用者とのふれあい 歌 遊戯	毎年9月に、お隣のにしのみや苑と甲寿園に来園してくれます。利用者の方々と素敵な歌や手遊びの交流が始まります。
国際ソロプチミスト神戸東 様	あいあいホールでの舞台	今年で甲寿園来園32回目を迎えるソロプチミスト神戸東の皆様、そして芦屋学園中高の皆様の催しが毎年6月に行われます。会員の皆様による素敵なクラシック演奏や、芦屋学園の生徒さんのはつらつした活動を、利用者の皆様は毎年楽しみにされています。アトラクション後もご利用者の誘導や会場の片づけも支援して下さいます。

廣田の杜合唱団 岡崎紘一郎 様 歌声サロン・越木岩	コーラス 年4回	年4回、岡崎先生の指揮のもと、大迫力のコーラスがあいあいホールに響きます。「廣田の杜合唱団」の皆様と「歌声サロン越木岩」の皆様が交互に訪問演奏に来てくださっています。毎回、楽しい企画でご利用者のそばに付き添っただりご利用者はますますお元になります。
車椅子レクダンス普及会(矢車草の会) 宝塚支部会長 今井 豊彦 様	奇数月 年6回	隔月の第2木曜日、あいあいホールが楽しいダンスホールに変身。今井先生の指導の下、車椅子を利用されている方も、利用されていない方も、目を見つめられ、手を引かれながらみんなで楽しいダンスタイムが始まります。
さくら 悦子 様 (歌手)	歌謡 毎月	デイサービスでは毎月カラオケ教室の主宰を担っていただいています。さくらさんのこぶしのきいた歌に聞きほれておられる方々、ファンも多く一緒に歌ったり踊ったり元気が出るカラオケです。地域でも功績を残されておられるさくらさん。わがデイサービスで困っている送迎についても地域住民の協力要請をしてくださる力持ちです。
山崎 戸始子 様 (舞踊)	第3火曜 舞踊とリラックス体操他	色々な国の手作り民族衣装や、懐かしい風景を思い出させて下さる数々の踊り、レパトリーの広がりは無敵です。リラックス体操ではゆったりとした音楽に合わせストレッチ。リズムダンスで脳の活性化。最後は腹話術をご披露して下さいます。
西宮ビデオクラブ 赤松 敏博 様	ビデオ撮影	甲寿園の行事の折々、ビデオ撮影してくださいます。催しの楽しさ、喜んで参加される利用者のみなさんのいきいきとした姿をとらえてくださっています。参加できなかった方へのビデオ上映会も大好評です。甲寿園入所者主演の映画「甲寿園の人々」も作成され上映会が待ち遠しいです。
コーロシンセラ 福岡 知子 様	コーラス	奇数月の第2火曜日のあいあい喫茶において、素敵なコーラスを披露してくださいます。昭和の懐かしい曲や季節の曲、コーラスに加え工夫を凝らした演出に利用者もウキウキ楽しまれています。
ギターのおじさん 松下 茂 様	歌とギター伴奏	あいあい喫茶や午後の催しにおいて、ギターを携えて、利用者の皆様に素敵な時間を提供してくださいます。歌の合間のお話も皆さんの楽しみです。過ぎし方の気づきのメッセージをいただき毎回あったかい気持ちになります。
宮水写真クラブ 西野 末雄 様	写真撮影	地域のお祭りとして定着しつつある「春フェスタ」や甲寿園の行事において、行事の模様を撮影していただいています。何気ない一コマを大切にしてくださいます。
神戸キリスト栄光教会 様	12月 クリスマス	コンサート・踊りと讃美歌、そして利用者の方々へのプレゼントと、ホールでの恒例のクリスマスの催しとなっています。唯一、甲寿園全体で行われるクリスマス会です。
末日聖徒イエスキリスト教会 様	12月 クリスマス	12月、趣向を凝らした催しと、素敵な手作り作品をフロアを順次まわりプレゼントしてくださいます。
西宮民踊協会 代表 田近 和子 様	盆踊り大会	毎年、夏祭りの「盆踊り」に駆けつけて下さっています。甲寿園の中庭に立てた櫓を中心に、夏の夜を楽しみます。踊りの指導をはじめ素敵な踊りの披露で、踊りの輪を広げていただいております。踊りのレパトリーもどんどん広がっていています。今年は猛暑のため館内でフロアごとの踊りの対応をしてくださいました。
西宮カウンセリング研究会 様	お話ボランティア 偶数月	職員に代わり、ご利用者のお話をゆっくりじっくり聞いてくださいます。偶数月に来園され、フロアに分かれて活動をしてくださいます。幼いころのお話し、家族のお話し等尽きません。
竹下 宏美 様	折り紙指導	毎月木曜日の月3回、デイサービスを中心に折り紙の指導に来園いただいています。利用者の方は季節の折り紙を通して、指先の訓練をめざし、一緒に折り紙をする事で幼い頃の暖かい気持ちを思い出しておられます。
今井 美子 様	そろばん指導	デイサービスのご利用者を中心にそろばん、暗算の指導をしていただいています。プリントに真剣に立ち向かうご利用者に今井先生が優しい声掛けをしてくださりご利用者のステップアップにつながっています。また、あいあい喫茶でシャンソンをご披露してくださいました。
武衛 俊雄 様	アコーディオン演奏	毎月のフロアお誕生会でアコーディオン演奏をして下さっています。懐かしい曲、季節のうたなどバラエティに富んだ演奏で盛り上がり、素敵なお祝い会になっています。

びんからKenちゃん 野田 健一 様	ギター演奏・歌	あいあい喫茶での催し、春フェスや飲み会の会での演奏、お誕生会での演奏等、多岐にわたり活躍していただいています。Kenちゃんの昭和歌謡、フォーク、演歌などご利用者に大人気です。
竹の子 野崎 竹勇雅 様	津軽三味線・踊り	あいあい喫茶での催しに来ていただいています。息の合った津軽三味線の演奏にご利用者は圧巻です。さらに師匠の竹勇雅さんのソロはご利用者の虜になっています。毎回、歌あり踊りありの楽しい企画に感謝です。
メゾフォルテ 様	バイオリン・ピアノ・歌	3ヶ月ごとに来園下さいます。毎回、選曲に工夫を凝らしていただいています。バイオリニストとピアニストのアイコンタクトで息の合った演奏に合わせてご利用者の皆様も指揮をとられたり口ずさんでおられます。
錦織 久 様	抒情歌・懐メロ	コーラスが本当にお好きで活動されています。毎月、フロアでご利用者とアカペラで歌っていただいています。懐かしい歌で幼いころの温かな気持ちがよくがえります。
福岡 陽子 様	音楽演奏	福岡先生の素敵なピアノと歌、そして音楽教室の生徒さんの可愛い演奏に、利用者のみなさんのお顔もニコニコ大満足です。
松岡 得三 様	オカリナ演奏	お誕生会に参加して下さりオカリナ演奏でご利用者に楽しんでいただいています。オカリナの音色にご利用者はうっとりされています。
永戸 勇 様	囲碁、将棋	気軽に来園されご入居者の囲碁や将棋のお相手をしてくださいます。ご利用者も真顔で姿勢を正され真剣勝負に挑まれています。
赤松優バレエ学園 様	バレエ	甲寿園に一番近くの甲陽園にあるバレエ団の皆様が来園して下さいます。幼児の生徒さんから大人のプリマ・プリンセスの舞踊にご利用者は夢の世界へと誘われます。
森田 治子 様	ピアノと歌（デイ）	毎週土曜に季節の歌・懐かしい唱歌等バラエティーに富んだ選曲による歌を携えて、デイサービスを訪問して下さいます。森田先生のピアノに合わせてご利用者の合唱です
甲陽園親子フラサークル 様	フラダンス	土曜日の昼下がりに親子でフラダンスのご披露して下さいます。優雅な手足、腰の振りに南国でのゆったりとした時間を体験できます。
田中 澄子 様	生活支援	甲寿園職員を卒業後、あいあい喫茶、車椅子ダンス、生け花の定期的な支援、他行事等と多岐にわたり活動していただいています。職員の先輩としてもご指導して下さいます。
西岡 トキワ 様	生活支援	利用者に寄り添い、生活支援をして下さっています。個別の細やかな活動で職員のサポートをして下さっています。
竹内 美希 様	生花	火曜日の「生け花クラブ」そして午後のあいあい喫茶の準備のお手伝等、利用者の皆様の生活の楽しみのサポートをして頂いています。
山内 志保子 様	生活支援・散歩介助	甲寿園を以前ご利用されていたご家族が、毎週木曜日に来園されご利用者の散歩の介助をして下さいます。「どんなふうに話をしたらご利用者にわかってもらえるのか」と常に試行錯誤しながら個別で活動して下さっています。

【クラブ活動のご指導】

ク ラ ブ 名	指 導 者	開 催 日
書 道	村松 和子 様と職員	第2、第3、第4、第5月曜日 大筆でのびやかに、小筆で繊細にと個々にあった指導で皆さん楽しんでおられます。
生 け 花	【職員】	火曜日 利用者の方は、月2回生け花クラブに参加しておられます
陶 芸	稲松 麻利子 様	甲寿園には陶芸の窯があり、それを利用して陶芸クラブの皆さんが稲松先生の指導の下、作品作りを楽しんでおられます。窯の中から碗や箸置きなど素敵な焼き物が作り出されてきます。
七 宝 焼	【職員】	月1回 水曜日
大 正 琴	【職員】	月1回 水曜日
手 芸	【職員】	月1回
編 み 物	【職員】	随時
書道（デイ）	森井 さや夏 様	第2第4水曜 先生の指導の下、デイの皆様が書道を楽しみました。作品の出来栄えをお互い披露しあい、お話が進みます。